500kgの鉄に 挟まった！

クレーン作業で吊り荷を移動するときは

人払いをして、吊り荷の進行方向に、人を立ち入らせない

吊り荷の下に絶対に入らない

吊り荷の側にも近寄らない

介錯ロープで誘導する

「500キロの鉄に挟まった」 意識不明の重体

クレーン作業、鉄製のかごと壁の間に挟まれ

2025年4月7日

7日午前7時半ごろ、愛知県の製鋼工場で、20代くらいの男性作業員が、鉄製のかごと壁の間に挟まれ、男性は病院に搬送されたが、意識不明の重体です。

警察によると、男性は他の作業員と鉄製のかごにクレーンのフックを取り付ける作業中、上昇したかごと壁に挟まれました。

「男性が壁と500キロの鉄に挟まった」と119番があった。